

山 事 研 會 報

第 26 号

平成 22 年 9 月 2 2 日 発行

山 梨 県 公 立 小 中 学 校 事 務 職 員 研 究 会
編 集 発 行 人 調 査 広 報 部

今 回 の 内 容

- 第 2 回 研 修 会 報 告 . . . 1
- 全 国 大 会 に つ い て . . . 2
- 会 員 の 先 生 に
聞 いて み ま し た ! . . . 2

第 2 回 研 修 会 の 報 告

第 2 回 の 研 修 会 が 南 都 留 学 校 事 務 研 究 会 と の 共 催 で、 富 士 吉 田 市 の 南 都 留 教 育 会 館 に お い て 開 催 さ れ ま し た。 多 く の 方 に 参 加 し て 頂 き、 有 意 義 な 研 修 会 と な り ま し た。

雇 用 保 険 に つ い て

富 士 吉 田 公 共 職 業 安 定 所、 厚 生 労 働 事 務 官 の 小 河 内 靖 史 様 に 講 師 を し て 頂 き ま し た。 雇 用 保 険 制 度 の 概 要 や 失 業 給 付 の 手 続 き に つ い て、 分 かり や す く 説 明 し て く だ さ い ま し た。

正 規 の 公 務 員 は、 突 然 の 失 業 が 予 想 さ れ な い 職 種 で あ る の で、 雇 用 保 険 の 加 入 対 象 に は な ら な い そ う で す。 し か し、 早 期 退 職 や 懲 戒 免 職 等 の 事 由 が 生 じ た 場 合 に は 法 令 に 基 づ き、 失 業 保 険 に 相 当 す る 手 当 を 受 給 す る こ と が で き ま す。 た だ し 懲 戒 免 職 に つ い て は、 状 況 に よ っ て 全 額 支 給 し な い ・ 一 部 支 給 の 形 に な り ま す。 詳 し く は、「 山 梨 県 職 員 の 退 職 手 当 に 関 す る 規 則 」「 山 梨 県 職 員 の 退 職 手 当 に 関 す る 条 例 」 を ご 覧 く だ さ い。

ま た 離 職 票 に つ い て は、 短 期 で あ っ て も 発 行 し て も ら っ た 方 が 良 い そ う で す。 離 職 日 よ り 過 去 2 年 間 遡 っ て 勤 務 し た 月 で 加 入 期 間 を 確 認 し、 給 付 率 が 決 定 す る た め で す。 再 発 行 す る こ と は 可 能 で す が、 時 間 が か か り そ の 分 支 給 開 始 が 遅 く な っ て し ま い ま す。

学 校 で は 事 例 が な い と 雇 用 保 険 の 手 続 き を し な い の で、 制 度 に つ い て 知 る 良 い 機 会 と な り ま し た。



危 機 管 理 に つ い て

大 月 市 立 猿 橋 小 学 校 教 頭 の 望 月 俊 克 様 に 「 学 校 に お け る 危 機 管 理 に つ い て 」 説 明 し て 頂 き ま し た。

危 機 予 防 の た め に は 職 員 一 人 一 人 が 危 機 管 理 意 識 を し っ か り 持 つ こ と が 必 要 で あ り、 い つ も 誰 か が 見 て い る、 誰 か に 見 ら れ て い る と い う 意 識 を 自 覚 す る こ と が 危 機 へ の 未 然 防 止 策 と な る そ う で す。

ま た 危 機 予 防 に は、 職 場 で 気 軽 に 情 報 交 換 ・ 相 談 が で き る 風 通 し の 良 い 環 境 つ くり が 必 要 で あ り、 職 員 室 に い る こ と の 多 い 事 務 職 員 の 協 力 が 必 要 だ と お 話 が あ り ま し た。



全国大会が開催されました

平成22年7月28日(水)～30日(金)、アスティとくしま(徳島県)において、第42回 全国公立小中学校事務研究大会 徳島大会が開催されました。本県からは、9名が参加しました。

例年、県教育委員会から3名が指名され、各校の配当予算の範囲内で旅費を支給することが可能です。他県の状況を知ることができ、また、一緒に行った仲間との交流が深まるなど、実際に行ってみることで多くのことを得ることができます。次年度の全国大会は、鳥取県で開催されます。是非、参加してみたいはいかがでしょうか。

大会の様子は、全国大会のHPの大会報告のページに掲載されています。

記念講演の内容、速報など最新の情報が掲載されています。ご覧ください！

徳島大会 HP http://www.kenjiken-tokushima.jp/zenkoku_2010/

会員の先生に聞いてみました！

前号の会報で、会報アンケートの集計結果をご案内しましたが、今後取り上げて欲しい内容のNo.1は『先輩方の体験談』でした。ということで、今回2名の先輩方に「後輩に向けて…」ということで、質問をしてみました！

先輩へ33つの質問。	① 山事研に入って良かったことは？	① 山事研には熱心な先生が多いので、とても刺激になります！	① 『仲間ができる』こと。学校事務の貴重なお話を伺う機会が得られるのも山事研に入っていればこそ!!!
	② 新採用のとき困ったことまたは失敗談	② 西八代郡の略「西八(せいはち)」を約1ヶ月、有名な事務職のおじさんの名前だと思い込んでいました…。	② 今でも失敗の連続です。けれど、失敗は恐れずに毎日がんばっています！
	③ とっておきのリフレッシュ方法を教えてください！	③ 毎日「いいこと日記」をつけてます。旅行のパンフレットや手紙なども貼って楽しんでます♪ <small>(経験年数 10年くらい・30代)</small>	③ 元気な方とお話しをして密かに元気を分けてもらいます。もう一つは、朝早く起きる。1日が少し長く感じて、得した気分になります。 <small>(経験年数 12年目・30代)</small>

今後の活動への参加、ご協力をお願いします。

H22/10/28

山事研研究大会 (関事協プレ発表会・研究会)

H23/1/27～28

関東地区研究大会 埼玉大会

※山梨が分科会発表をします！！

H23/2/24 全事研セミナー

■会報についての連絡先■

〒406-0851

笛吹市境川町小黑坂1941

笛吹市立境川小学校

堀内 光

TEL 055(266)2006

FAX 055(266)2021